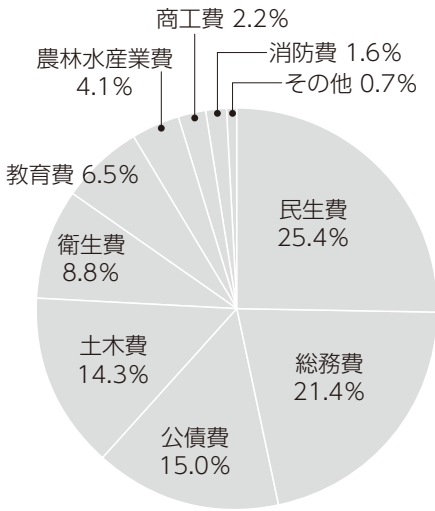


一般会計歳出

一般会計歳出予算構成比



区分	年度等	令和元年度 予算額	前年度からの 増減額	増減率 (%)
議会費		1億5,386万円	△105万円	△0.7
総務費		65億1,703万円	1億7,447万円	2.8
民生費		77億1,287万円	1億5,371万円	2.0
衛生費		26億6,754万円	△2億1,868万円	△7.6
労働費		1,361万円	△119万円	△8.0
農林水産業費		12億4,283万円	1,775万円	1.4
商工費		6億7,576万円	3億1,774万円	88.8
土木費		43億4,352万円	4,501万円	1.0
消防費		4億9,426万円	△1億2,939万円	△20.7
教育費		19億8,323万円	2億312万円	11.4
災害復旧費		319万円	0	0.0
公債費		45億5,519万円	△5,848万円	△1.3
諸支出金		10万円	0	0.0
予備費		6,000万円	0	0.0
合計		304億2,300万円	5億300万円	1.7

予算増減の要因となった事業（主なものを抜粋）

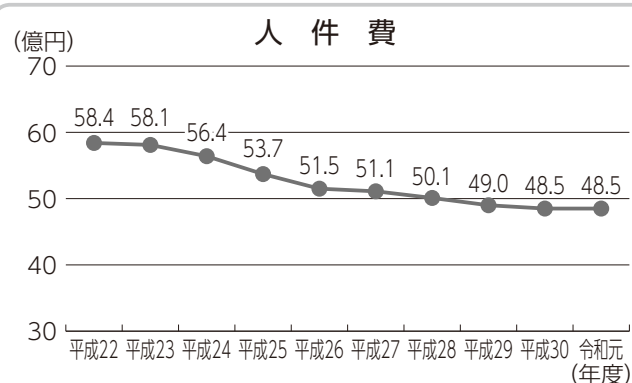
歳出

プレミアム付商品券事業（商工費） +3億2,205万円
 小学校大規模改造事業費（教育費） +1億7,344万円
 障がい者自立支援事業費（民生費） …… +6,901万円
 個人住宅リフォーム事業（土木費） …… +3,000万円
 体育施設整備事業費（教育費） ……△4,753万円
 上水道事業対策費（衛生費） ……△1億2,112万円
 消防車両整備事業（消防費） ……△1億4,717万円

歳入

ふるさと応援基金繰入金（繰入金）… 2億5,000万円
 子ども・子育て支援臨時交付金（各種交付金） 1億2,600万円
 普通交付税（地方交付税） …… 1億円
 プレミアム付商品券関連補助金（国庫支出金） 8,205万円
 都市計画税（市税） ……△5,573万円
 保育園入園費負担金（分担金及び負担金） △1億4,121万円
 臨時財政対策債（市債） ……△1億5,000万円

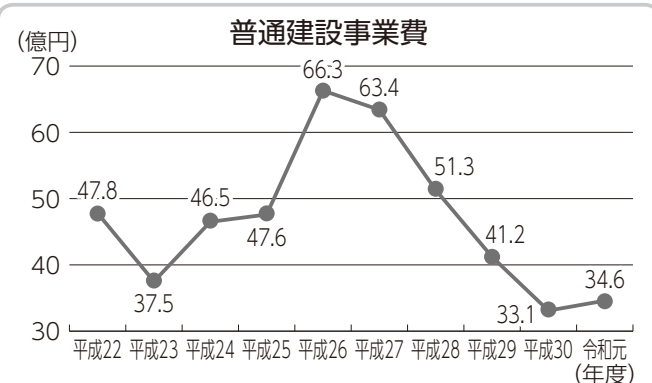
主な性質別歳出予算の推移



人件費には何が含まれる？

一般の職員に対する給与、手当、共済費、退職手当等が主なもので、他には特別職に対する報酬などが含まれます。（臨時職員賃金は含まれません）

定員管理適正化計画に基づいて抑制を続けており、職員数の削減などで減少が続いています。今年度は893万円の減となりました。



普通建設事業費とは？

道路・橋りょうなどのインフラや、学校・庁舎などの建築物を整備するための事業費です。平成26・27年度には、市民病院や大原運動公園などの大型建設事業が集中したため、大きな山になっています。大型建設事業の完了によって減額が続いていましたが、今年度は1億4,961万円の増加となりました。